

製品名: Kv3.4 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab13167

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNC4
別名	KCNC4; Potassium voltage-gated channel subfamily C member 4; KSHIIC; Voltage-gated potassium channel subunit Kv3.4
遺伝子 ID	3749.0
SwissProt ID	Q03721
免疫原	抗血清はヒト KCNC4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

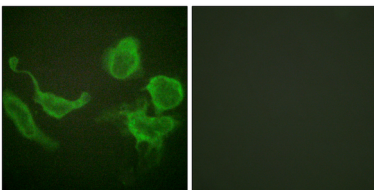
背景

ショウジョウバエの Shaker 遺伝子ファミリーは、電位依存性カリウムチャネルの構成要素をコードし、4つのサブファミリーから構

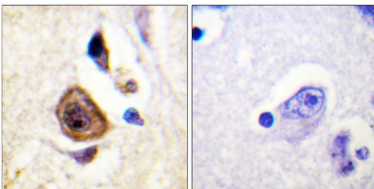
成されています。配列相同性に基づくと、この遺伝子は Shaw サブファミリーと類似しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チャンネルタンパク質の遅延整流クラスに属し、興奮性膜の電位依存性カリウムイオン透過性を媒介する膜貫通タンパク質です。このタンパク質は、神経細胞の興奮性に重要な役割を果たす可能性のある、非定型的な電位依存性過渡電流を生成します。この遺伝子には複数の転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2010年7月],domain:セグメント S4 はおそらく電位センサーであり、3つおきに正に帯電したアミノ酸の配列が特徴です。 ,domain:テールは、チャンネル活性の調節や、特定の細胞内コンパートメントへのチャンネルの標的化に重要な役割を果たす可能性があります。 ,function:このタンパク質は、興奮性膜の電位依存性カリウムイオン透過性を媒介します。膜電位差に応じて開または閉構造をとるタンパク質は、カリウムイオンが電気化学的勾配に従って通過できるカリウム選択性チャンネルを形成する。 ,PTM: 不活性化ゲートのセリン残基のリン酸化は、チャンネルの急速な閉鎖を阻害する。 ,類似性: カリウムチャンネルファミリーに属する。 C (Shaw) サブファミリー。 ,サブユニット: ホモ四量体 (推定)。カリウムチャンネルタンパク質のヘテロ四量体。 ,

研究分野

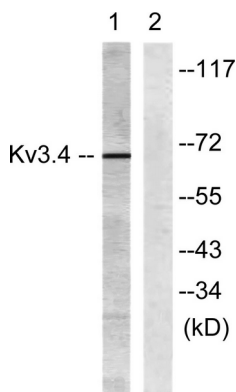
画像データ



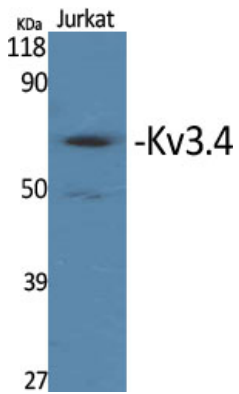
Kv3.4/KCNC4 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



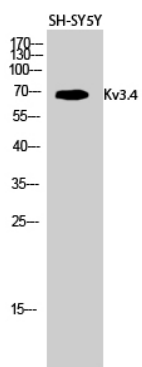
Kv3.4/KCNC4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



アニソマイシン 25ug/ml、30μg 処理した COS7 細胞のライセートを Kv3.4/KCNC4 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



1: 500に希釈した Kv3.4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



Kv3.4 ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いた SH-SY5Y 細胞のウェスタンブロット解析